



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

# しらこぼと

## 2009.7

No. 297

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



# 221+286=302??

## 支部探鳥会記録のデータベース化ができています!

山口芳邦(新座市)

	探鳥会回数 (中止を除く)	参加人数		出現鳥種数		出現した鳥 の種類
		累計	平均	累計	平均	
県内	1,834	77,008	42.1	58,109	31.7	221
県外	314	11,108	35.4	12,883	41.0	286
合計	2,148	88,116	41.1	70,992	33.1	302

この表は、当支部の第1回探鳥会(1984年5月6日、浦和市秋ヶ瀬)から現在までの記録の要約です。『しらこぼと』創刊号から2008年11月号No.295までの「行事報告」欄(No.35までは「探鳥会報告」欄)の記載をデータベース化して、昨年(2008年)の6月から、こういう数字が簡単にわかるようになりました。仮にすべての探鳥会に参加し、出現したすべての鳥種を見ているとすれば、探鳥会だけでも302種を見ることができたこととなりますね。

探鳥地別や種別の出現状況など、探鳥会記録について、なんでも容易にわかるようになりました。

例として、ごく大雑把に探鳥会でのシラコバトを調べてみましょう。1984年から続いているさいたま市三室地区探鳥会では、1994年までは毎年出現していましたが1995年以降はまったく確認されなくなっています。また2000年以降は、さいたま市近辺の探鳥会でも記録がなくなっています。2005年以降になると、出現は北川辺町渡良瀬遊水地、松伏町松伏記念公園、松伏町まつぶし緑の丘公園、加須市加須はなさき公園、幸手市宇和田公園、深谷市仙元山公園に限られています。都市化と鶏舎牛舎の減少および鶏舎牛舎の鳥インフルエンザ対策など、シラコバトを取り巻く環境はますます厳しく、これからどうなるのでしょうか。

リストには「探鳥年月日」「探鳥年」「探鳥月」「都・県名」「探鳥地」「出現鳥名」「英名」「学名」「目」「科」「整理番号」「参加者数」「天気」「報告

者名」「しらこぼと No.」「備考」のフィールドがあり、各レコードが入っています。

「整理番号」は、鳥名を鳥合わせリスト順に並べかえるためのもので、種番号の代替とを考えてください。2008年11月号までの記録で、出現鳥は70,992レコードです。エクセルのファイルにいられてありますので、そのまま使ってもよし、エクセルの高度な知識を使って自分なりのものに加工するもよし、あるいはアクセスなどのソフトを使ってワンランクアップさせるもよし、材料として自由な使い方が可能です。興味のある方は、支部事務所のパソコンにもはいつていますのでご覧ください。

なお、このデータは埼玉県支部としてオーソライズされたものでなく、以下のごとくあくまでも私個人の判断のもとに作成したものです。

探鳥会の記録は、いわば長期にわたる定期定点調査です。大勢の目で見るので発見率はかなり高く貴重なデータです。今まで記録は、300冊に近い『しらこぼと』上にあり、使うのが困難な状態でした。たまればたまるほど貴重なデータになりますが、それだけ紙上の記録では使えなくなります。まさに宝の持ち腐れです。

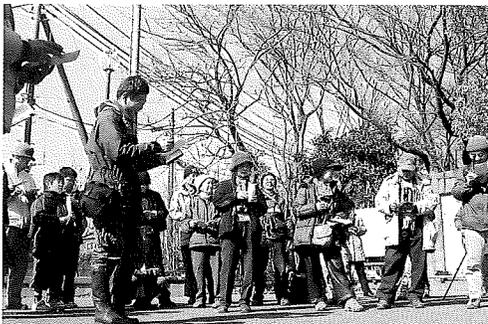
そこで、昨年(2008年)の3月をはじめ、一大決心をしました。創刊号からの探鳥会記録のデータベース化です。スキヤナを使ったOCRでやるか、ひとつひとつ打ち込むかを思案しましたが、手持ちのプログラムを使えば、単純な後者のほうがずっと効率的且つ正確に作業ができる

と判断しました。

ソフトは私が個人的記録に使っているファイルメーカープロをそのまま使うことにし、その登録画面で一冊試し打ちをしてみました。左手指は『しらこぼと』の紙面上に置かざるを得ず、右手だけでの打ち込み及びマウス操作です。1冊1時間近くかかることがわかりました（慣れと工夫で実際にはもっと短時間で登録できるようになりましたが）。とすると終わるまでに約300時間が必要、これはとてつもないプレッシャーです。300時間あれば本が大分読めるなあ、またその分やりたいこともできなくなるなあ、書棚に並んでいる『しらこぼと』の幅にも圧倒されました。

そこで発想を転換。そんなこと言ったら結局私はこの300時間、昼寝をしたりくだらぬテレビ番組を見たりして怠惰に過ごすに違いない。それらの時間を有効に使うのだと考えよう。あとは体力と気力だが、数年前家にあった家族などの写真1万数千枚をスキャンしてパソコンに取り込んだ経験がある。それに比べたらこんなの「ヘノカップ」だな。完成はあせらず2年後でもいい、始めさえすればやがて終わりは来るさ。とうわけで自らをむりやり鼓舞し、説得し、昨年3月3日（さんざん苦勞する日）、ついパソコンの前に座ってスタート。

まずエクセル上に300号までの進行管理表を作りました。1冊が終わると打ち込み日を入れ、文字を青色に変えていきます。最初はリストが暗雲垂れ込める陰鬱な黒一色ですが、進むに連れて青空が増えていきます。そう、これはよかったですよ。最初は一点の青空が、日が経つにつれ面になり、広がりやがては雲ひとつない晴天になるはず。完成は2年後で



いいと始めましたが、実際にはせっかちな性格の私ですので、早朝から深夜まで作業することも多くなりました。単純作業のため時々襲ってくる睡魔には閉口しましたが、存在しない鳥名は受け付けられないようプログラムを組んでありましたのでとりあえず安心でした。

結果として打ち込みが完了したのは、自分でも驚くほど早い6月16日。その日、世の中は曇天でしたが私の気分はまさに日本晴れ。達成感というより苦行からの開放感が強かったですね。それにしてもその日のビールのなんとまあ良かったことか！ また幸い、恐れていた腱鞘炎にもなりませんでした。

ところが、終わってファイルメーカーからエクセルにデータを移そうとしたところ、エクセルの行数が足らずすべてを1表に収めることができない。私のエクセルは1シート約6万3000行位しか使えないのです。支部事務所のパソコンも同じ。後日、役員のアさんのアイデアで県内、県外でシートを分けることにしてこの件は取り敢えず落着きました。でも3年後くらいにはそれもいっぱいになります。因みにエクセル2007では100万行以上もOKのようですね。

今回のデータベース化作業で感じたことがあります。それは、番外鳥も入っていたらよかつたなあということです。例えばガビチョウが記録されていれば、各探鳥地にどのように今まで広がってきたかがわかつたでしょう。そういう意味で今年から番外鳥が探鳥会記録に追加されたのはとても良い判断です。これからは探鳥地でのガビチョウの盛衰も記録されていくことになります。

また、これは高望みの高望みにすぎませんが、ある支部で実行しているように、鳥合わせリストに確認数はいっていたら更に価値あるデータになるなあと思いました。

私は1993年の入会ですが、今回事務所その他からお借りしたそれ以前の『しらこぼと』を読むことができて、今まで知らなかった支部の歴史の中のいろいろな方のお名前や働きなどを知りました。単純な作業の合間に読む古い記事は時に疲れを癒してくれました。

(山口: )

# 2008 年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日 時：2008 年 9 月 15 日 9:15  
～11:45

場 所：さいたま市 大久保農耕地  
天 候：曇り

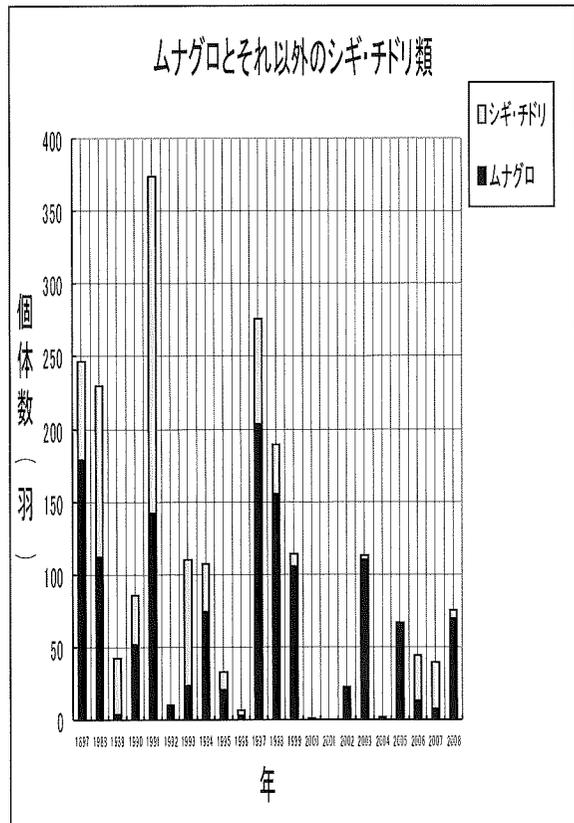
当日は日本の東に高気圧があり、本州付近に張り出している一方、九州には前線が停滞して、曇りとなりました。連休でしたが、支部会員 15 名の協力が得られました。ご苦労様でした。

ある程度田んぼは湿っていましたが、B区でイソシギとタシギが観察されたただけでした。ムナグロはA区上空を通過した約 70 羽しか観察されませんでした。それを加えて、鳥種・個体数は 3 種 75 羽となりました。

グラフは秋のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数を、表は秋のカウント結果をまとめたものです。

(注) 種名不明のタシギ属およびシギ類は、種数に入れませんでした。

(石井 智)



秋のカウント結果 (大久保農耕地)

年	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	合 計	
調 査 日	9/15	9/15	9/15	9/15	9/16	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/14	9/13	9/18	9/18	9/18	9/17	9/15		
天 候	晴れ	曇り	晴れ	雨	雨	曇り	曇り	雨	雨	晴れ	雨	曇り	晴れ	曇り	曇り	晴、曇り	晴れ	曇り	晴れ	晴、曇り	晴れ	曇り		
1 タマシギ					1																2		3	
2 コチドリ		26						11	1		13													51
3 シロチドリ				2	2																			4
4 ムナグロ	179	112	4	52	142	10	24	74	21	3	203	155	105			110					13	8	70	1285
5 ケリ		2																						2
6 キョウジョシギ					2																			2
7 トウネン					2		2																	4
8 ヒバリシギ		1																						1
9 エリマキシギ											1	2												3
10 アオアシシギ																					5			5
11 クサシギ	1	1			1			1		1												3		8
12 タカブシギ	36	15		12	17						4					3			6	1	7			101
13 イソシギ					5		1				1												1	8
14 ホウロクシギ													1											1
15 コシャクシギ												6												6
16 タシギ	29	72	38	20	185		80	19	11	1	51	24	6			17	3	1	60	23	15	4	659	
17 オオジシギ											2				1							2		5
タシギ属	2	1			8		2				1	2	1		3					2	2		24	
18 アカヒレアシシギ					9																			9
チドリ類											1													1
シギ類													1					1	1			1		4
合 計	247	230	42	86	374	10	107	107	33	7	275	189	114	1	0	23	113	2	67	44	40	75	2186	

## タカの渡り報告 II

千島康幸 (小川町)

2年間、寄居町中間平でタカの渡りを見ていて、渡って行く方向でいい所がないか探し、東秩父村と皆野町の境にある登谷山に行き着きました。秩父方向は、木と建物があり良く見えませんが、条件が良いと新宿の高層ビル

～筑波山～男体山～赤城山～榛名山まですばらしい眺めです。

2007年は、上昇気流に乗り谷から湧いて来るサシバ、ハチクマが頭上を越えて行ったり、鷹柱を上から見たりすることができましたが、2008年は、風が強い日が多く谷沿いを低く飛んでしまったのか、頭上を通過するタカが少なく、ちよっぴり不満の残ったシーズンになりました。晴れて風が弱く穏やかな日に登谷山に来てみて下さい。きっと目の前を渡って行くタカに会えることでしょう。

### 2007年 登谷山山頂668mタカ観察記録

月日	天候	時間	サシバ	ハチクマ	ノスリ	オオタカ	ツミ	タカ類	他
9月8日	霧のち晴	8:00～10:00	1	3					アサギマダラ
9日	曇	14:45～16:00			3				トビ
15日	霧のち晴	7:45～12:00			2		1	3	トビ、アオバト、コサメビタキ、エゾビタキ、サメビタキ
16日	晴	7:30～12:00		2	4	1	1		トビ、アオバト、アマツバメ
17日	晴	8:00～12:45	4	1	3	1	1	ハヤブサ(1)	トビ、アオバト、コサメビタキ、サメビタキ
20日	晴	7:30～10:00	28		1			2	
10月6日	晴	7:45～12:30		1	4				トビ、キビタキ、アサギマダラ
13日	晴	7:45～9:40							ツバメ、カケス
20日	晴	8:10～12:00			8	2	2		トビ
		合計	33	7	25	4	5	6	

### 2008年 登谷山山頂668mタカ観察記録

月日	天候	時間	サシバ	ハチクマ	ノスリ	オオタカ	ツミ	タカ類	他
9月6日	霧のち曇	8:30～11:50	1		1	1	3	2	トビ、アサギマダラ
9日	晴	8:30～11:50		1	1	1	6		トビ、コサメビタキ、サメビタキ
13日	晴	7:20～15:00	2		7	3	3	ハヤブサ(1)	トビ、エゾビタキ、アマツバメ
15日	霧のち曇	7:55～10:00	1		1				ヤブサメ、アサギマダラ
20日	曇のち晴	7:30～14:00	4	1	3	1		1	エゾビタキ
23日	晴	7:50～13:00	28	1	2		1		トビ、アマツバメ、アサギマダラ
27日	晴	7:40～12:15	9	1	10			2	
10月13日	晴	8:10～11:30			8				チヨウゲンボウ(1)
19日	晴時々曇	8:15～10:00							アマツバメ、ジョウビタキ♀
		合計	45	4	33	6	13	7	

### 埼玉県内年間鳥見ランキング参加のご案内 普及部長 橋口長和

埼玉県支部鳥見ランキングも今回で7回目。2008年の鳥見総決算に参加しませんか。2008年1月1日から12月31日までの間に、埼玉県内で観察した鳥種数と探鳥会参加回数によりランキングを決定。多少に関わらず皆様のご参加をお待ちしております。

#### 1. 埼玉県内観察鳥種数ランキング

- ・ 県内での観察であること。県境の河川敷等で双眼鏡や望遠鏡で見える範囲は可。
- ・ 観察鳥種は当支部発行『埼玉県内鳥類リスト』に記載されているものとし、新種に関しては記録委員会が認定した時点で加算。

- ・ 鳥種名、観察月日、観察場所の3項目を記載したリストを送ってください。

#### 2. 探鳥会参加回数ランキング

- ・ 埼玉県支部主催の探鳥会に限ります。リーダー参加者とも1回1ポイント、宿泊探鳥会も1ポイント。
- ・ 探鳥会名、実施月日の2項目を記載してリストを送ってください。

#### 3. 参加方法

- ・ 埼玉県支部会員に限ります。
- ・ リストの形式は自由です。お名前とご住所、電話番号を記載して、電子メールまたは下記住所に郵送してください。
- ・ 締切 2009年1月31日 (消印有効)

橋口長和



## 野鳥情報

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇10月15日午後、エゾビタキ2羽、コサメビタキ1羽。10月18日、エゾビタキ1羽。10月21日、ツツドリ1羽、ハイタカ?1羽。10月22日、「チッチッ」とアオジ。「シー」と翼の白い帯を見せて飛ぶシメ4羽。両方とも今季初認。10月28日、ツツドリ成鳥と若鳥2羽が別々の場所に出現。シメの声、元荒川にはヒドリガモ8羽。10月30日、「クィクィ」とアリスイらしき声がするも姿確認できず。カケス、大分前からすでに居ついている。ジョウビタキ♂と♀が追いかかけ合い、今季初認。他にアオジ、シメなど。10月31日、森の下の湿った地面にオオタカ垂成鳥1羽。村国池でカルガモに混じりマガモ♂1羽。アオジ、シメ、ウグイスの雉鳴き。元荒川でイカルチドリ2羽（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区野孫** ◇10月15日、ノビタキ3羽+（鈴木紀雄）。

**蓮田市笹山** ◇10月16日、田んぼの刈穂の間でタシギ3羽。耕耘された田んぼにタゲリ3羽が降りていた。今季初認。しかし、以後見られず。10月18日、タシギ6羽、タヒバリ3羽、今季初認（鈴木紀雄）。

**蓮田市黒浜** ◇10月16日、黒浜沼北のアシ原で「クィクィ」の声。探すと枯れ木でアリスイが羽繕い、今季初認。10月21日、上空高くツミが舞っていた。10月31日、田んぼでタシギ2羽。コンクリート製の畔の上で羽繕いをするビンズイ1羽、ビンズイという松林のイメージだが、渡り途中では開けた所にも来るらしい。東埼玉病院内でアオジ、シメ、カケス。ツグミ2~3羽、今季初認。「シー」とシロハラまたはアカハラの声。さらに藪の中から「タッタッタ」とルリビタキの声も。11月3日、東埼玉病院の林内でハイタカ若鳥、鋭い眼光。他にカケス、アオジ、シメ、クロジらしき声。アカハラ、シロハラらしき声も（鈴木紀雄）。

**松伏町浜川戸公園** ◇10月20日、アシ原でオジュリン、今季初認（鈴木紀雄）。

**松伏町大川戸古利根川** ◇10月26日、イカルチドリ幼鳥10羽+、カルガモ多数、ヒドリガモ20羽~30羽、マガモ1羽、カワウ3羽、イソシギ2羽、セグロカモメ1羽、ハクセキレイ10羽-（海老原美夫）。

**騎西町中種足** ◇10月22日、貯水池でアオアシシギ2羽など（鈴木紀雄）。

**菖蒲町北緯36.06度東経139.60度付近** ◇10月28日、ニューナイスズメ150羽±、電線に止まっていた。今季初認。アオサギ8羽、ダイサギ15羽、コサギ3羽、カルガモ22羽、コガモ（エクリプス）38羽、カイツブリ3羽、オオバン2羽、タシギ1羽、チョウゲンボウ1羽（長嶋宏之）。

**菖蒲町小林北緯36度4分3秒東経139度34分9秒12付近** ◇11月1日午後3時30分、ミヤマガラス12羽（その内成鳥9羽幼鳥3羽）、稲刈りが済んだ乾いた田んぼで採食していた。近くにハシボソガラスが50羽いたがミヤマガラスは固まって行動していた。コクマルガラスはいなかった。10月28日にはミヤマガラスは確認できなかつたので、この間に渡って来たようだ（長嶋宏之）。

**騎西町中種足田圃北緯36度4分58秒44東経139度32分42秒72付近** ◇11月1日、部分白化のハシボソガラス（下写真）が30羽±のハシボソガラスと一緒に採餌。昨年と同じ個体を観察。一年間生き延びたようだ（長嶋宏之）。



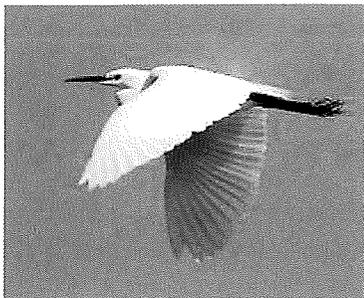
表紙の写真

スズメ目アトリ科ベニマシコ属ベニマシコ  
北本自然観察公園にて

吉田伸一



## 行事案内



コサギ(落合英二)

**ご注意：特に風が吹くと体感気温は一気に下がります。すべての探鳥地で、防寒対策をしっかりと。**

### さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月4日(日)

集合：午前10時00分、さぎ山記念公園入口。

交通：大宮駅東口7番バス乗り場9:30 発浦和学院高校行き、または東浦和駅9:27 発さいたま東営業所行きで「さぎ山記念公園」下車。駐車場はありますが、もちろん飲酒運転厳禁です。

担当：海老原、楠見、福井、工藤、宇野澤

見どころ：新年の挨拶を交わして初探鳥会。昼ごろからはいつもの野外懇親会を予定しています。酒類、食べ物ご持参歓迎。敷物もご用意ください。

ご注意：例年1月3日開催でしたが、今年は、**4日(日)に変更です。**

### ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：1月4日(日)

集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス9:40 発船橋海浜公園行きにて終点下車。または午前10時、現地バス停。

担当：佐久間、菱沼(一)、玉井、齋藤、高橋(優)

見どころ：ミヤコドリをはじめ、越冬するシ

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章の担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちがあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生50円、一般100円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

ギ・チドリ類や圧倒的な数のスズガモを見ます。黒い帯状になっている群れの中から珍しい鳥を見付けるのはちょっとした冒険気分。

### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：1月7日(水)

集合：午前9時30分、森林公園南口前。

交通：東武東上線森林公園駅から、立正大学行き9:10 発バスで「**滑川中学**」下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」は通過してください。

費用：入園料400円(子供80円)

担当：藤掛、大坂、喜多、兼元、杉原、高橋(ふ)、高橋(優)、中村(豊)、林、藤沢、

見どころ：初春探鳥会！今年も見たい野鳥を探しに森林公園にお越しください。南口から中央口の山田大沼まで、寒さに負けずに歩きましょう。

ご注意：集合時間が早くなりました。

### 久喜市・久喜菖蒲公園探鳥会

期日：1月10日(土)

集合：午前9時30分、久喜菖蒲公園駐車場。

交通：JR宇都宮線白岡駅西口から、8:37分発朝日バス菖蒲仲橋行きで「除堀(よけぼり)」下車、徒歩約15分。バス停からご案内します。

担当：玉井、大坂、内田、長嶋、植平、小林(正)

見どころ：沼を巡る道を歩き、木立の鳥やアシ原の鳥、水鳥を探します。昨年は雨で不在だったトモエガモを、多数のカモの中から探しましょう。ミコアイサやアメリカヒドリが居ればラッキー。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1月11日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:09発、または寄居8:49発に乗車。

担当：後藤、中里、森本、倉崎、高橋(ふ)、藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、千島、鶴飼、進士

見どころ：厳しい寒風の中、昨年は猛禽3種出現。今年も出てくれるかな。それに赤い鳥、青い鳥、黄色い鳥がそろえば、新春早々大吉だ。

### 戸田市・彩湖探鳥会

期日：1月11日(日)

集合：午前9時10分、彩湖道満グリーンパーク中央駐車場。

交通：埼京線武蔵浦和駅東口2番バス乗り場から、下笹目行き8:37発で「道満グリーンパーク入口」下車。交差点まで戻り左折して土手を越える。

担当：倉林、藤掛、松村、有馬、赤坂、新部、赤堀、馬場

見どころ：真白き富士山や秩父の山々を背景に猛禽類を、湖面ではカンムリカイツブリ、ヨシガモ、ミコアイサ、カモメの仲間をぜひみたいです。

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期日：1月12日(月・祝)

集合：午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス③番から、国民年金春日部エミナース行き8:41発で「共栄大学・短大前」下車。西へ徒歩3分。

担当：石川、吉安、橋口、新井(良)、宮下、

吉岡(明)、野村(弘)、野村(修)、進士

見どころ：まだまだ屋敷林や雑木林が残っています。シメ、ツグミ、アオジ、ジョウビタキ、シロハラ、アカハラ等の漂鳥や冬鳥、時には上空を舞うタカ類を観察しながら歩きましょう。

### 松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会

期日：1月17日(土)

集合：午前9時20分、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟。

交通：東武伊勢崎線せんげん台駅東口から、茨城急行バス松伏町役場行き8:47発で、「まつぶし緑の丘公園」下車。

担当：橋口、田邊、吉岡(明)、榎本(建)、植平、野村(弘)、野村(修)、小林(善)、森下、進士

後援：まつぶし緑の丘公園事務所

見どころ：オープン2年目を迎えた県営緑の丘公園は、本年から公園事務所が後援となり探鳥会を行うことになりました。公園の池ではカモ7種が見られ、近隣の屋敷林を巡って、冬の小鳥や近年めっきり減ったシラコバトを探します。アフターにはみんなでお弁当はいかがですか、ご持参ください。

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：1月18日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、倉林、渡辺、若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎、舟木

見どころ：今年の5月の例会で満25年を迎えます。皆さんに支えられて四半世紀が過ぎました。これからも皆さんの声を反映して、楽しい探鳥会をやりたいと、リーダーが願を掛けました。寒さに負けずに勢揃いした冬鳥を見にお出かけください。

## 北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：1月18日（日）

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。  
または午前8時30分、中央エントランス  
駐車場。

交通：東武日光線新越谷7:20→春日部7:35  
→栗橋7:55→柳生8:05着。またはJR宇  
都宮線大宮7:07→栗橋7:40着で、東武  
日光線乗り換え。

解散：午後12時ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当：内田、橋口、玉井、田邊、四分一、中  
里、小林(正)、植平、進士、茂木、山田(東)

見どころ：冬本番の谷中湖。干し上げのなか  
水鳥たちは元気でしょうか。カモ、カイ  
ツブリ、アイサの仲間と浮島の上を飛ぶ  
チュウヒやミサゴ、冬の小鳥オオジュリ  
ン、ベニマシコなどを探します。

## 蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：1月24日（土）

集合：午前8時40分、JR宇都宮線蓮田駅東  
口バス停前。

担当：田中、玉井、吉安、長嶋、長野、菱沼(一)、  
榎本(建)、青木

見どころ：黒浜沼周辺は広くはないのですが、  
変化に富んだ環境のせいで、年間を通じて  
130種以上の野鳥が記録されています。  
ここ3年の1月は39・45・39種出現して  
います。出現数だけでなく近い距離で鳥  
たちを見ることがするのも魅力です。

## 『しらこぼと』袋づめの会

とき：1月24日（土）午後3時～4時ころ

会場：支部事務局108号室

## 狭山市・入間川定例探鳥会

期日：1月25日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8:44発、所沢8:39  
発に乗車。

担当：長谷部、藤掛、高草木、中村(祐)、山  
本(真)、久保田、石光、山田(義)、山口、  
星、水谷

## あけましておめでとうございます

支部長 藤掛保司

会員の皆様、良いお年をお迎えの事とお  
慶び申し上げます。今年も、バードウォッ  
チングを通して、鳥好きの皆様とお逢いす  
る喜びや、野鳥の情報交換等々、健康で安  
全に過ごしたいと思います。

去年は、兵庫県・豊岡へ、自然界に放鳥  
されたコウノトリを見に行く機会があり  
ました。環境を整えること、即ち、地域の  
皆様方のご協力があったからこそ、たんぼ  
や川の中で餌をついばむ姿や、優雅に飛ぶ  
姿を観察する事が出来るわけです。感激致  
しました。

今年も、皆様方のご健康とご活躍を、心  
よりお祈り申し上げます。

見どころ：1月は、年6回のうちで最も鳥の  
種類の多い月です。去年はルリビタキみ  
やキクイタダキなど37種を見ることが  
できました。ここ数年不調のカモたちが  
復活してくれれば、40種はいきそうです。

## 長瀨町・長瀨探鳥会

期日：1月25日（日）

集合：午前9時20分、秩父鉄道長瀨駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8:18→寄居8:48に乗車。

担当：井上、小池(一)、佐久間、青山、堀口、  
小池(順)、喜多、大澤、鶺鴒、岡田

見どころ：冬本番の長瀨です。去年はヤマセ  
ミを観察できてラッキーでした。今年  
はどんな鳥たちが私たちを迎えてくれるで  
しょうか。河原を歩きます、防寒に加え  
て足拵えをしっかりと。

## 茨城県・平潟温泉探鳥会(要予約)

期日：1月31日(土)～2月1日(日)

定員に達したので締めきりました。



## 行事報告

3月2日(日) 寄居町 玉淀河原

参加: 47名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ トビ オオタカ ノスリ ハヤブサ コジュケイ イカルチドリ クサシギ イソシギ キジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 天気に恵まれて多くの野鳥が観察できた。ただ、参加者のお目当の野鳥がしばらく観察できないのが気がかりだ。出現時間帯が変わったのか、行動範囲が変化したのか。周辺の環境も人為的な原因も含めて変化しているのも心配だ。時間に余裕ができたなら、お目当ての野鳥の行動を調査してみたいと思っている。(小池一男)

6月1日(日) 北本市 石戸宿

参加: 48名 天気: 晴

カワウ ゴイサギ アオサギ カルガモ オオタカ コジュケイ キジ バン キジバト ホトトギス カワセミ コゲラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) (番外: ガビチョウ) 行事案内で予告したホトトギスの声がしない! 桜堤から公園に戻った所で、やっと先頭集団が、遠くで一声鳴いたのを確認。ホッと胸をなでおろす。参加者の一人、RK君(小学生・会員)に鳴いているオオヨシキリを数えてもらい、鳥合わせの席で報告してもらった。結果は、57羽! 鳴き声だけが頼りで個体識別ができないため、重複カウントもあるだろうが、それでもかなりの数がこの時期この公園いることが分かった。ありがとうRK君! 今後も、この時期のオオヨシキリのカウントを、継続して実施してみたいと思う。(浅見 徹)

6月1日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 47名 天気: 晴

カイツブリ カワウ アオサギ カルガモ キジバン コチドリ キジバト カッコウ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 前日の雨も上がってさわやかに晴れ、探鳥会日和。この時期の楽しみは巣立ち雛たち。スズメ、シジュウカラ、モズ、そして雑草の上で親鳥を待っているのは嘴や羽の色からアオジ? いろいろな意見が飛び交う中やってきた親鳥はホオジロ! 幼鳥の識別は難しいなあ。(手塚正義)

6月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 30名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ コジュケイ キジ キジバト カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) (番外: ガビチョウ) 6月の大麻生探鳥会は3年ぶり。いつも雨で流れていたのだ。この季節、自然界は幼い命にあふれている。駅上空に群がるムクドリにも、今年生まれの幼鳥がいっぱい。土手道を行けば、ここにもツバメの幼鳥が並んで、親鳥の給餌を待っている。でも、この日の主役はカイツブリの親子連れかな。親鳥が、2羽の雛を背に乗せた愛くるしい姿は、絶好のシャッターチャンスを作ってくれた。スズメバチやマムシにも遭遇して、自然界の怖さもちょっぴり体験する。(榎本秀和)

6月14日(土) 茨城県 浮島湿原

参加: 34名 天気: 晴

カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ コチドリ キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ オオセッカ オオヨシキリ セッカ ホオジロ コジュリン スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (19種) 湿原の乾燥化が進んでいるのか、ノハナショウブの花も、コヨシキリやヨシゴイの姿も見えない。しかし、コジュリンのさえざる姿を見れば、来たかいもある

というものだ。はるか遠くだが、オオセッカのさえずり飛翔も何とか確認する。帰路には、千葉県「我孫子市鳥の博物館」を見学。初めて来た人も多く好評であった。鳥三昧の一日を有意義に楽しんだ。(榎本秀和)

6月15日(日) さいたま市 三室地区

参加：58名 天気：晴

カワウ カルガモ キジ コチドリ キジバト  
カッコウ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ  
ハクセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ  
ムクドリ コジュケイ ハシボソガラス ハシブトガラス (22種) ヒバリが歌いながら、空に舞い上がり、たんぼでは稲がすくすくと育っていた。カルガモのペアが畦道で休息している。コチドリにもぎやかに飛び廻っていた。暑くならないうちに代用水の木陰へ。斜面林にある馬場東公園でゆっくり、おしゃべりや木々のお勉強。(楠見邦博)

6月21日(土) 『しらこぼと』袋つめの会

ボランティア：10名

新井浩、池田泰右、江浪功、海老原教子、大坂幸男、倉林宗太郎、佐久間博文、志村佐治、増尾隆、松村禎夫

6月22日(日) 坂戸市 高麗川

参加：12名 天気：曇時々小雨

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ コジュケイ キジ イカルチドリ キジバト ホトトギス カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ  
ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ  
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) (番外：ガビチョウ、ドバト)  
朝から小雨模様であった。城山橋付近で雨が強くなってきたので終了とし、橋の下での鳥合わせとなった。ホトトギス、ウグイス、ホオジロなどが盛んに鳴いていた。そして相変わらずのガビチョウも。天候上猛禽類は期待できなかったが、それでもチョウゲンボウが飛んでくれた。(山口芳邦)

7月6日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地

参加：53名 天気：晴

カイツブリ カワウ ヨシゴイ ササゴイ ダイサギ アオサギ カルガモ トビ キジ バン  
アジサシ コアジサシ キジバト カッコウ カワセミ ヒバリ ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ  
ウグイス コヨシキリ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ  
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 思い出橋から南を見ると柳の木にカッコウ。橋をわたり、谷中湖北ブロックをみるとコアジサシが気持ちよくダイビングをして餌取り、岸でもササゴイが気を集中して見事に小魚をゲット。展望塔ではヨシゴイが飛ぶ。オオヨシキリ、コヨシキリ、セッカなどを観察しながら水門でUターン。カワセミ観察の後、復路は4m近いヨシ原の中、囀りを確認しながら歩き、藤棚の下で鳥合せ。暑い中、野鳥もアセもよく出た。(内田孝男)

7月13日(日) 熊谷市 大麻生

参加：17名 天気：快晴

カイツブリ カワウ アオサギ カルガモ トビ  
コジュケイ キジ キジバト アマツバメ コゲラ  
ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ  
ヒヨドリ モズ ウグイス セッカ シジュウカラ  
ホオジロ カワラヒワ スズメ  
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) (番外：ガビチョウ) 猛暑の中、押切河原に向けて出発。ツバメの飛翔が目につく。電線で親鳥を待つ巣立ち雛。盛んに餌を運ぶ親鳥。途中、モズの若鳥やホオジロの若鳥等も姿を見せる。河原では、いつも盛んにさえぎっているオオヨシキリの姿がまったく見えず、さびしい限りだった。(後藤康夫)

7月13日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：50名 天気：晴

カイツブリ カワウ アオサギ オオタカ コジュケイ  
キジバト カワセミ コゲラ ツバメ イワツバメ  
ハクセキレイ ヒヨドリ ウグイス キビタキ  
シジュウカラ メジロ ホオジロ イカル スズメ  
ハシブトガラス (20種) (番外：ガビチョウ、ドバト) 歩き始めてすぐにイカル、カワセミが出た。西田沼のところでオオムラサキが数頭見られた。梅林で咲き始めたヤマユリ、そしてギンリョウソウ、オオバノトンボソウ等の野草を見て、山田大沼まで、ウグイス、キビタキなどの鳴声を聞きながら歩いた。(佐久間博文)



**●支部の名称変更案、全国支部の意見**

公益法人制度改革による支部の名称変更に関する検討委員会8月19日づけ臨時答申に対する全国支部の回答集計(11月12日現在)が、11月16日に開催された全国ブロック・支部連絡会で報告されました。

現在の支部名称から「支部」の2文字を削除して「日本野鳥の会○○」とする案に対して、全88支部のうち回答63支部

賛成 53支部

(そのうち、「県」の削除を検討6支部。当支部はこれに含まれます)

賛成とそれ以外の案の両論併記 3支部

反対ほか 6支部

未検討 1支部

アンケートでは反対の回答をしたが、連絡会の席では受入の姿勢で発言する支部もありました。未回答の支部にも回答を呼びかけるなど、話し合いが進められています。

**●関東ブロック協議会に出席**

11月29日(土)~30日(日)、都内府中市で、第32回関東ブロック協議会(東京支部担当)が開催され、柳生博会長をはじめ、関東地区9支部の代表、財団本部職員などが集まりました。

当支部からは藤掛保司支部長、海老原美夫副支部長、橋口長和普及部長、小荷田行男研究部長の4名が出席。各支部の総会開催状況、事故救急対応、各支部の近況などについて意見交換、報告などが行われる中、小荷田研究部長は合同シラコバト調査の進行状況、橋口普及部長は当支部リーダー研修会での救急対応講習について報告しました。

**●冬の野鳥調査はがき同封します**

前月号4ページ下欄でお知らせした冬鳥調査はがきを今月号に同封しました。冬季のみ見

られるいわゆる「冬鳥」だけではなく、留鳥も含め、期間中見られるすべての野鳥が対象です。注目種はユリカモメ。よろしくお祈いします。

**●会員数は**

12月1日現在2,203人です。

**活動と予定**

11月8日(土) 12月号校正(海老原美夫・大坂幸男・藤掛保司・山田義郎)。

11月15日(土)~16日(日) 都内板橋区で開催された全国ブロック・支部連絡会に出席(海老原美夫、橋口長和)。

11月16日(日) 役員会(司会:橋口長和、各部の報告・公民館の探鳥会指導依頼・行事予定の変更・その他)。

11月21日(金) 「支部報だけの会員」に向けて12月号を発送。申し込み探鳥会のお知らせがあるので、『野鳥』誌同封発送分との配達日を調整して(倉林宗太郎)。

**●事務局の予定**

1月10日(土) 編集部・普及部・研究部会。

1月17日(土) 2月号校正(午後4時から)。

1月18日(日) 役員会(午後4時から)。

1月24日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

**編集後記**

支部探鳥会の一参加者として、10数年ぶりに宮城県伊豆沼・蕪栗沼に。夕陽をバックにマガンの大群がねぐら入り。昔と変わらず感動的。ささやかな海外探鳥旅行の経験と比較して、日本が世界に誇る探鳥地のひとつではないかと、あらためて思う。探鳥専門旅行社に旅行手配などを依頼する方式、支部の行事として私は初体験。会計報告で新幹線団体割引などプラスマイナスすると、現地案内人もついてかなりの割安感。担当リーダーの皆さん、お世話になりました。(海)

しらこぼと 2009年1月号(第297号) 定価 200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部  
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号  
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/  
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com  
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル  
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社